

「主の御手の中で」

～あなたの名前を呼ばれる神

詩篇31：14～16

私達一人一人には名前がついています。聖書の時代には名字というものがありませんでした。当時はたかさんの人達が同じ名前をもっていました。昔の日本もそうでした。名字があるのに屋号で呼んだりもしていました。旧約の時代にも同じ事がありました。以前から人間の世界で変わらないのは始めから名前があり、名前という不思議な文化で人間だけがもっています。皆さんには名前がつけられているのもう一度名前の本当の意味と価値を考えてみて欲しいです。名前を生まれた時からつけられた意味は本来の姿を忘れるな。そんな意味があるのではないかと思います。神様はあなたの名前を呼ばれる方です。神様と人を思うと複数の中の一人とを感じる事があります。しかし、新約聖書の中でイエス・キリストが人々と向き合う姿は群集の前ではなく一対一のやりとりです。個人的な関わりを保とうとされます。礼拝も一週間の歩みも保たなければなりません。一番はあなたがあなたの姿を保たなければいけません。詩篇31：14～16

ダビデにとって荒野で逃げ惑う時は痛みの時でした。誰も守ってくれない状況で命からがら何年も逃げました。しかし、ダビデが変わらなかつたのはどんな状態になっても神様の御手の中から出ようとしなかつたことです。私達がどう生きるかはあなたにかかってきます。私達は私達でしか決断することが出来ないで素直な気持ちで決断していくことが大事な事です。

「主の御手の中で」あなたの名前を呼ばれる神

最近の研究で人間の腸という場所は免疫をつかさどる場所と言われるようになりました。腸の中には免疫細胞を精製する訓練場という場所があり、まず細胞はここで悪い細胞と悪くない細胞を勉強して体内に入ってきたウィルスと戦いたくさん勉強した免疫細胞が体中に派遣されていきます。あなたの身体の細胞が元気であることに大切なのが腸内細胞、腸内菌が元気であることなのです。最近の人達は腸の中に入ってくるウィルスによって勉強することができなくなっています。それは、前のように沢山のウィルスの中で生きていないからです。空気清浄機やアルコール消毒などで綺麗な生活をおくっているからです。私達がウィルスの過剰反応を起こしたり病気に負けたりするのは食べ物であると言われていました。食生活と信仰生活の両輪が大事なのです。食生活で身体を整えて、信仰生活は心を保ち整える方法を考えなくてははいけません。

①神様を小さくしてはいけません

都会の生活に疲れたあるクリスチャン夫婦がノースダコタ州という田舎でドラックストアを営みましたが、1日20人しか来店がなく商品も売れなく生活も苦しくなり喧嘩も耐えなくなりましたが教会には通い続け喧嘩も辞めて祈りました。すると神様から「目の前を見なさい」「困っている人を助けてあげなさい」と声を聴きました。お店の前にハイウェイが通っていましたので当時はエアコンも無くノースダコタ州はとても暑い所だったのでフリーアイスウォーターと看板を立てて冷たい水を無料で配るようにしました。すると一日4000人来る様になりました。今までの彼は自分の不足しか見ていませんでしたが、目線を変えることができました。宗教というのは何か自分達がすることで返してもらおう姿ですが、教会とは本当にあなたを愛している人を感じあなたの道が示されることを知ると自然の姿になっていき、結果色々なことを学ばせてくれます。宗教は相手が求めることをやれば叶えられ、崇めれば崇め奉れば返ってきますがキリスト教は自分を見ることが出来ます。礼拝での賛美は自分の心を整えて信仰の告白や感謝の思いを歌に通して訴えているので心が入ります。そして、自分の心にもう一度戻ることができるのがメッセージの時間です。私達が聞く時間です。最後にあなたの元に返りますと祈る事ができ、自分を見ることを大事にしたいのです。崇める神様を見るのではなく、父である神様を見るのです。神様を小さく見ないでください。御手の

中に居るのに不安、どうせという気持ちがあなたの信仰を小さくします。神様がしようとされているのはあなたが生きる中で私は絶えずあると伝えただけでだから認めてください。あなたがしようとすることを委ねて信頼して成し遂げてくださる人を信じて欲しいからです。私達も目に見えないものを信じないといけません。私達も信じる事ができます。それを選ぶのは私達です。

②神様があなたを呼んだ。 イザヤ43章 1節

あなたが神様を呼んだのではない。神様があなたを呼んだわけです。あなたが私を選んだのではない、私があなたを選んで任命したと伝えていきます。それはあなたがいつか実を結びその実が残る為である。これは約束です。私達がここに絶えず進んでいかななくてはなりません。一粒の麦が地に落ちて死ねば実を結ぶし、一粒の麦が生きようとすれば実を結ぶことができません。自分の力で進もうとしたらできませんし、神様が私を呼んでくれたと思えば立ち上がる事ができます。是非どちらかを選んでください。

人をあなたの命の代わりにする。この時からイエス・キリストがあなたの為に十字架にかかるということがすでに言われています。その国を治める人があなたの変りになるのです。神様は複数形で言うてはいませんが、あなたに言っています。

比較をしてしまうこともあるかもしれませんが、神様に戻ってください。私がここにいます。私はあなたに呼ばれたその名で答えます。それに答える事ができれば人生は変わります。問題が起きたとき人のせいにして裁く事は簡単です。

人間には弱さがあり教会は聖書に書かれていることを行える成熟した者になる為の訓練場です。あなたの出来事に神様が出てくると強いのです。嫌だなと思ったり、腹がたったりする時、意味があると思えば神様を小さくせず、呼ばれたと感じて決断できると変わります。

③神様をはなれるな！御手の中にペテロの手紙 第一5章6節

神様の隣にいただけでは意味がありません。しがみついてください。神様といると奇跡が起こっていきます。後は決断するだけです。私達は素直に信じて選ぶことができ、そして変わる事ができます。見る目線を変えて神様の元に帰ってみてください。神様はあなたに任せる為に選んだのです。人が言っている事を悪口と捉えることもできますし、その言葉を使ってより良くすることもできます。腹を立てて怒ることもできますが今を見ずに信じて選ぶことによって変わるのです。神様が生きて働いてくださいます。

だから出て行くてはいけません、諦めてはいけません。近くにいってもペテロのようにイエス様のことを小さくして奇跡は起こりません。一言「静まれ」と言っただけで嵐はやみました。あなたの前にある大きな問題も神様の手によれば簡単に解決できますが、解決する前にもう二度と同じ目にあわないように訓練をさせて待っています。親が子を訓練しないことがあるでしょうか。ですから、信じて素直になって選んでください。腹が立ったときあなたが呼ばれます。神様に呼ばれたと信じて声を聴いてください。

(要約者:富岡美千男)

(1月28日)